

2026年度 外国語科シラバス

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース、看護医療進学コース、英語コース						
教科書	CROWN English Communication Ⅲ		副教材	・新・英語の構文 150			
科目の概要	英語コミュニケーションⅢとは、「聞くこと」「話すこと(やり取り、発表)」「読むこと」「書くこと」という4技能5領域の力を養う授業で、聞いたり読んだりしたことを基に情報を共有したり、考えを話したり書いたりする幅広い言語活動を行う。 コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加え、豊かな文化観と適切な国際理解のための資質・能力を養うことを目標とする。 また英語を学ぶことを通して多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力と、多角的に物事を捉え、異なる価値観を受け入れる力を培う。			評価の観点	【知識・技能】 外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解し、これらを活用し適切に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
				評価方法	学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。 ・定期考査(計4回)・小テスト(単語など) ・ライティング課題・プレゼンテーション ・授業への取り組み など		
				学習方法	適切なコミュニケーション力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。またそれらを別々に切り離して覚えるのではなく、学んだ単語と文法、表現を組み合わせ、文として発音するなど、常に英語をコミュニケーションのツールとして捉えるよう心掛けること。		
授業内容	1学期 Lesson1～4(講演、雑誌記事、論説文) 2学期 Lesson5～8(ブログ記事、論説文、雑誌記事、インタビュー) 3学期 Lesson9、10(論説文、雑誌記事) 随時、受験対策として文法や会話文、長文内空欄補充問題などの演習を行う。			備考	使用教材、授業進度については変更の可能性がある。		

2026年度 外国語科シラバス

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース（文系特進）						
教科書	MY WAY English Communication Ⅲ		副教材	・システム英単語 ・Next Stage 英文法・語法問題[4th EDITION]			
科目 の 概 要	英語コミュニケーションⅢとは、「聞くこと」「話すこと(やり取り、発表)」「読むこと」「書くこと」という4技能5領域の力を養う授業で、聞いたり読んだりしたことを基に情報を共有したり、考えを話したり書いたりする幅広い言語活動を行う。コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加え、豊かな文化観と適切な国際理解のための資質・能力を養うことを目標とする。 また英語を学ぶことを通して多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力と、多角的に物事を捉え、異なる価値観を受け入れる力を培う。			評価の観点	【知識・技能】 外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解し、これらを活用し適切に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
				評価方法	学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。 ・定期考査（計4回）・小テスト（単語など） ・ライティング課題 ・プレゼンテーション ・授業への取り組み など		
	1学期 Lesson 1～4（新聞記事、雑誌記事、講義、プレゼンテーション）、読解演習 2学期 Lesson 5～8（ブログ、雑誌記事、インターネット記事、討論）、大学入試過去問題 3学期 プリント教材 ※上記の進度を目安とし、4技能（話す、聞く、読む、書く）を伸ばす様々な言語活動を折り込みつつ授業を行なう。			学習方法	適切なコミュニケーション力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。 またそれらを別々に切り離して覚えるのではなく、学んだ単語と文法、表現を組み合わせ、文として発音するなど、常に英語をコミュニケーションのツールとして捉えるよう心掛けること。		
				備考	使用教材、授業進度については変更の可能性がある。		

2026年度 外国語科シラバス

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	学年	3
学科・コース	普通科 総合キャリアコース、幼児教育コース、スポーツコース、音楽コース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	MY WAY English Communication Ⅲ		副教材	・大学入試英語頻出問題総演習（即戦ゼミ8）			
科目の概要	英語コミュニケーションⅢとは、「聞くこと」「話すこと(やり取り、発表)」「読むこと」「書くこと」という4技能5領域の力を養う授業で、聞いたり読んだりしたことを基に情報を共有したり、考えを話したり書いたりする幅広い言語活動を行う。コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加え、豊かな文化観と適切な国際理解のための資質・能力を養うことを目標とする。 また英語を学ぶことを通して多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力と、多角的に物事を捉え、異なる価値観を受け入れる力を培う。			評価の観点	【知識・技能】 外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解し、これらを活用し適切に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
	1学期 Lesson 1～4（新聞記事、雑誌記事、講義、プレゼンテーション） 2学期 Lesson 5～8（ブログ、雑誌記事、インターネット記事、討論） 3学期 Reading 1～7（雑誌記事、インターネット記事） ※上記の進度を目安とし、4技能（話す、聞く、読む、書く）を伸ばす様々な言語活動を折り込みつつ授業を行なう。			評価方法	学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。 ・定期考査（計4回） ・小テスト（英単語やリスニングテスト等） ・ライティング課題 ・プレゼンテーション ・授業への取り組み など		
授業内容				学習方法	適切なコミュニケーション力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。 またそれらを別々に切り離して覚えるのではなく、学んだ単語と文法、表現を組み合わせ、文として発音するなど、常に英語をコミュニケーションのツールとして捉えるよう心掛けること。		
				備考	使用教材、授業進度については変更の可能性がある。		

2026年度 外国語科シラバス

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	3	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース、看護医療進学コース、英語コース						
教科書	・ EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Advanced		副 教 材	・ システム英単語<5訂版>			
科目 の 概 要	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 また、1年を通じて、これまで学んだ英語力の定着と更なる発展を目標に、文法問題と長文読解にも取り組む。			評 価 の 観 点	【 知識・技能 】 外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 【 思考・判断・表現 】 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。 【 主体的に学習に取り組む態度 】 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
				評 価 方 法	学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。 ・ 定期考査（計4回） ・ 小テスト ・ プレゼンテーション ・ ライティング課題 ・ 授業への取り組み など		
				学 習 方 法	適切な表現力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。		
授 業 内 容	・ 1、2年生で学んだ文法項目の総復習 ・ 様々な大学の過去問題の演習、リスニング、英作文のトレーニング ・ その他適宜必要な項目を扱う			備 考	使用教材、授業進度については変更の可能性はある。		

2026年度 外国語科シラバス

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	3	学年	3
学科・コース	普通科 総合キャリアコース、幼児教育コース、スポーツコース、音楽コース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	・APPLAUSE English Logic and CommunicationⅢ		副教材	・システム英単語<5訂版>			
科目の概要	論理・表現Ⅲは、「話すこと(やり取り・発表)」「書くこと」という2技能3領域におけるこれまで培った知識を基に、表現の方法を工夫しながら伝える能力をさらに伸ばし、英語を学ぶことを通して多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力と、多角的に物事を捉え、異なる価値観を受け入れる力を培う。 また、必要に応じて入試問題対策も行う。			評価の観点	【知識・技能】 外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
				評価方法	学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。 ・定期考査(計4回) ・小テスト ・プレゼンテーション ・ライティング課題 ・授業への取り組み など		
				学習方法	適切な表現力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。		
授業内容	1学期 Lesson1～6(予定、好み、提案、依頼、感謝等の表現) 2学期 Lesson7～9(時間的順序、人物・事物の描写等の表現、パラグラフライティング) 3学期 Lesson10 プレゼンテーション準備、発表 総合キャリアコース(文特)については、大学入試問題に対応出来る力を養うことを目標とし、リスニングや英問英答問題、文法問題演習、英作文などを追加して取り扱う。			備考	使用教材、授業進度については変更の可能性はある。		

2026年度 外国語科シラバス

教科	外国語科	科目	(学) 英会話	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 英語コース						
教科書	なし	副教材	プリント教材等				
科目の概要	本学園ネイティブ教員とのTTで実施する。 様々な場面を想定した会話や、幅広いトピックについてのプレゼンテーションに触れる機会を多く設け、実用的な語学力の育成を目標とする。2年次の英会話から更に発展的な内容を扱う。			評価の観点	【 知識・技能 】 外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 【 思考・判断・表現 】 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。 【 主体的に学習に取り組む態度 】 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
				評価方法	定期考査は行わず、授業内の取り組みで評価する。 ・リスニング ・プレゼンテーション ・ペアワーク、グループワーク ・小テストなど		
				学習方法	授業の予習、復習、グループワークやプレゼンテーションの準備。		
授業内容	・ Presentation ・ Speech Hobbies Physical appearance Extreme places on Earth Numbers in words Music genres Daily routines			備考	使用教材、授業進度等については変更の可能性はある。		

2026年度 キャリア教育科シラバス

教科	外国語科	科目	(学) 英会話	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース						
教科書	なし		副教材	プリント教材			
科目の概要	英語を「ことば」として捉え、コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に特化した授業を展開する。 様々な場面を想定した会話や、幅広いトピックについてのプレゼンテーションに触れる機会を多く設け、実用的な語学力の育成を目標とする。			評価の観点	【 知識・技能 】 外国語の音声や語彙の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 【 思考・判断・表現 】 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。 【 主体的に学習に取り組む態度 】 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
				評価方法	定期考査は行わず、授業内の取り組みで評価する。 ・リスニング ・プレゼンテーション ・ペアワーク、グループワーク ・小テスト		
	1 学期 Classroom English / Family / Childhood Speech – Life Mind Map 2 学期 Dreams・goals / World Cultures / Social Media / World News / Business etiquette Speech - Job・University Ent Interview 3 学期 SDGs / Speech – Skit (or Debate)			学習方法	授業の予習、復習、グループワークやプレゼンテーションの準備		
				備考	使用教材、授業進度については変更の可能性がある。		

2026年度 外国語科シラバス

教科	外国語科	科目	(学) 英語特講	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース（文系）、英語コース、総合キャリアコース（文系特進）						
教科書	なし		副教材	なし			
科目の概要	入試対策（文法・長文・リスニング）に特化した演習型の授業形態とする。			評価の観点	【 知識・技能 】 外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 【 思考・判断・表現 】 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。 【 主体的に学習に取り組む態度 】 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
				評価方法	学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。 ・定期考査（計4回） ・小テスト ・プレゼンテーション ・ライティング課題 ・授業への取り組み など		
				学習方法	適切な表現力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。		
授業内容	様々な大学の過去問題の演習、リスニング、英作文のトレーニング			備考	使用教材、授業進度については変更の可能性はある。		